

各県部会の開催状況報告

- 北陸地方における建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進する協議会及び新潟・富山・石川県部会を平成26年10月に設立。
- 令和4年7月6日に新潟県部会を開催し、新潟県内におけるこれまでの取り組みの情報共有と、令和4年度の取り組みの展開について意見交換を行った。

開催概要

【新潟県部会】 令和4年7月6日（水）10:00～12:00

- ・〔会場〕 北陸地方整備局 4F共用会議室（Web併用にて実施）
- ・〔出席機関〕

〔行政〕 北陸地整、信濃川河川事務所、新潟国道事務所、北陸技術事務所、新潟労働局、新潟県土木部、新潟県教育委員会、新潟市

〔建設産業〕 日建連北陸支部、新潟県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、新潟県測量設計業協会、新潟県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

〔教育〕 長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、新潟工業高校、新発田南高校



検討結果

令和3年度はコロナ禍の影響を受けつつも、合同企業セミナーを始め、オンラインツールやDXの活用に係る見学会、普通科高校や小中学生へのアプローチ等、各機関が工夫して様々な取り組みを実施。

令和4年度もwithコロナの中で、これまで培った取り組みの継続と、女子学生や小中学生の保護者を対象としたPR、さらに他の担い手育成に取り組む団体との連携を試行する。



主な意見等

- ・将来の担い手確保につながる建設系学校への進学を増やすため、進路選択時に大きな影響を与える小中学生の保護者や義務教育団体へのPRに取り組む必要がある。
- ・建設界でも女性が活躍されているという点を意識して、女子学生をターゲットとした視点は重要である。
- ・ダイバーシティの一環として女性活躍推進に取り組んでおり、若手技術者ワーキンググループに女性職員を配置しているが、新卒採用で女性採用が増えた実感があり、働き方改革の効果が出ていると思う。
- ・インターンシップについて、実際の事業所に足を運んで職業を経験するというのは、担い手確保そして肌感覚で身に着けるとい意味で、大変大事だと考えている。



- 令和4年11月1日「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（富山県部会）を開催し、富山県内における建設業の雇用情勢等について共有したほか、コロナ禍であった令和3・4年の担い手確保の取り組みの報告を行い、これらをもとに今後の活動方針等について意見交換を行った。
- 土木の仕事や魅力を具体的に知ってもらう現場見学会等のこれまでの取り組みをしっかりと継続することに加え、雇用充足率等を念頭に土木専攻以外に取り組み対象の裾野を広げていくことを確認した。

- ・日 時 令和4年11月1日（火）14:00～15:30
- ・会 場 富山河川国道事務所3F会議室（WEB併用で実施）
- ・出席機関
 [建設産業] 日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会
 [教育機関] 富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校
 [行 政] 富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防工事事務所、利賀ダム工事事務所、富山労働局、富山県土木部、富山県教育委員会



部会長冒頭挨拶



活動方針等の意見交換



～意見交換での主な意見～

- ・土木専攻の女子学生が毎年コンスタントに入学しており、これまで同様女子学生向けの取り組みを実施してほしい。（学校関係者）
- ・現場見学会や出前講座等で、特に先輩の話が聞けたりすることが継続的な土木への興味関心につながっており、1年生の段階から行う事が重要だと感じる。（学校関係者）
- ・保護者向けの見学会では、土木について参加してみて初めて知ったなどの意見がとても多い。（学校関係者）
- ・少子化の影響もあり、土木学科は定員割れを起こしている。オープンスクールにおいて中学生に職業観を伝えるための建設業の魅力（将来）について知識が無いことが懸案。（学校関係者）
- ・建設DXやICT建機といった働く環境がどんどん進化していることの情報発信が必要。（業界関係者）



- 令和4年10月26日、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【石川県部会】」を開催し、県内の労働力需給状況の説明や現場見学会、出前講座等の実施報告を行い、それらを踏まえた今後の活動方針等に関して意見交換を行いました。
- 鉄筋組立体験や女性技術者による意見交換会等に加え、オンラインによる現場見学会、ICT建設機械の体験や3D画像による計画説明など様々なツールを活用したユニークな取り組みが数多く紹介されました。

開催概要

- **日 時** 令和4年10月26日（水）14:00～15:30
- **開催場所** 金沢河川国道事務所 会議室
- **出席機関** [行政] 金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、石川県教育委員会
[建設産業] 日建連北陸支部、石川県建設業協会、道建協北陸支部、建設コンサルタント協会北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会
[教育機関] 金沢工業大学、石川高専、県立小松工高

意見交換での発言要旨

- ◆ DXの推進やICT施工、週休2日制などにより、安全面・衛生面を含め建設業は変革していることをもっと発信していきたい。
- ◆ 多くの学生が建設業等へ就職している一方、離職者が多いのが最近の状況。
- ◆ 生徒にはなるべく様々な経験をさせており、地元へ定着している。入学してくる学生が減少している問題はあるが、就職先が充実していることを伝えていきたい。
- ◆ 親に建設業の現状を理解してもらうための取り組みが重要だが、中学生以上になると親と共に行動する機会が得にくいため、小学生を対象として実施している。
- ◆ 最近の学生・生徒はテレビはほとんど見ずインターネットとかYouTubeを見ているので、学校にはウェブサイトの更新や動画を作成してもらうようお願いしている。

開催状況

